

るが、デザイナー、スタイルメーカー等、流行の是非はともかく、現在の流行は今の世代に生きていることはたしかである。それと同様各時代時代に作られた服装も、夫々、社会的、文化的、その他種々の異なった要素を持ちつつ夫々の理想的衣裳美をのこしていると思う。本研究は、これ等服装のシルエットにみられる変化をゴールデンセクションによって解析し、それ等を形成している美的要素を考察しようとするものである。

2. 今回の本研究の対象としたシルエットは我が国の服装に最も大きい影響をもたらした1880年代のものを取り上げた。資料は当時の写真、美術資料、並びに各国服装史、当時の実物衣裳、復元衣裳等、当時の洋装に関する諸般の文献資料を参考にし、柳亮氏の芸術のゴールデンセクションによる解析法を試み服装のシルエットについて考察した。

3. その結果、芸術の解析法同様、若干の異同はみられるが、今回における夫々のシルエットは、ゴールデンセクションで分割されるものとみてさしつかえないと思われる。最近田中千代氏も現在のミニスタイルは計算された美であり、ゴールデンセクションで分割されるとしており、美意識の中に、一貫した分割の流れがある様にも思われる。すでに完成された各時代の服装の美的要素について今後も更に考察していきたいと思う。

C-87 服装文化についての一考察
——ゴールデンセクションよりみたシルエットについて——(第1報)

三島女家政 ○庄司 洋子
千葉美恵子
佐々木まさ子

1. 近年服装における変化にはめまぐるしいものがあ